

令和6年度 東京学芸大学大学院教育学研究科 入学試験

試験区分	一般選抜	○
	現職教員選抜	○
	外国人留学生等選抜	○
	派遣教員選抜	×
	特別選抜	×

科目	環境教育
対象	環境教育サブプログラム

受験番号					

I. 下記の①から⑤までの語句について日本語で説明せよ。

①拡大生産者責任

【解答欄】

【解答例】生産者が製品を製造する工程や製品の品質や安全性について責任を負うというのが生産者責任であるが、それを製品使用後の廃棄やリサイクルの段階についても責任を負うという考え方。これに基づくと使用済み製品の回収・廃棄・リサイクルに関わる費用を生産者に負担させることが可能になる。

②マイタイムライン

【解答欄】

【解答例】住民一人ひとりの防災行動計画。台風等の接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に、自ら考え命を守る避難行動のため、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理したもの。その検討過程においては、市区町村が作成、公表した洪水ハザードマップを用いて、自らの様々な洪水リスクを知り、どの様な避難行動が必要か、また、どのタイミングで避難することが良いのかを、自ら考え、家族と共有することが重視される。

③動物福祉

【解答欄】

【解答例】家畜動物、動物園や水族館等で飼育される展示動物、医科学研究のための実験動物、一般家庭のペットなど、多くの動物は人間の利益のために動物本来の特性や行動、寿命などが大きく規制されていることが多い。こうした利用を認めつつも、それらの現場で動物の感じる苦痛の回避・除去などに極力配慮し、その生命を尊重しようという考えが動物福祉である。1960年代に英国で家畜の劣悪な飼育管理の改善に向けて定められた「五つの自由」（「飢えと渇きからの自由」「不快からの自由」「痛み、傷、病気からの自由」「正常行動発現の自由」「恐怖や悲しみからの自由」）が動物福祉の考え方の基本とされ、世界中に広がった。

④エコロジカル・フットプリント

【解答欄】

【解答例】人間が自然環境にどれだけ依存しているかを表す指標。今の私たちの生活水準を維持するために必要な農地や森林などの土地（各種生態系）の面積であらわされる。

⑤タイラーの原理

【解答欄】

【解答例】タイラーの原理は、カリキュラム研究の「金字塔」と言われる『現代カリキュラム研究の基礎』（1949年）においてラルフ・タイラーによって示されたカリキュラム開発論である。4つのステップ、すなわち①目標を記述すること、②目標に従って学習経験を選択すること、③学習経験を組織すること、④目標を基準として評価を行うこと、として定式化される。

令和6年度 東京学芸大学大学院教育学研究科 入学試験

試験区分	一般選抜	○
	現職教員選抜	○
	外国人留学生等選抜	○
	派遣教員選抜	×
	特別選抜	×

科目	環境教育
対象	環境教育サブプログラム

受験番号					

II. 日本学術会議は、日本の学校教育における環境教育について、次のように述べている。

環境は学術の具備すべき「知の全体性」を再構築する重要なテーマであり、体験を通して感性と知性を育む環境教育は、これからの学術を育む素地として有用である。だが、学校教育において、公害教育、自然体験教育、ESD が有機的に展開されているとはいえない。

(日本学術会議環境学委員会環境思想・環境教育分科会、2016、『提言 環境教育の統合的推進に向けて』、ii ページ)

この文章が指摘するように、現状では、日本の学校教育において環境教育は有機的・統合的に推進されているとは言えない。それはなぜなのか、また、この課題克服のために何が必要で、何をすべきか、教師の視点からあなたの考えを述べよ。

【解答欄（裏面も利用可）】

【解答のポイント】

- ・ 日本の学校における環境教育の有機的・統合的推進を阻む原因・理由として、教師に関連する概念的・後方支援的・教授学習的・態度的・学校ならびに学級運営的・制度的障壁などが指摘されていること。
- ・ 障壁克服のための見立てが述べられていること。
- ・ 見立てを具体化した手立てが述べられていること。
- ・ これらが筋道だって明瞭に述べられていること。